

第8回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月17日（水）

9時00分から9時20分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

9時00分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。

（資料を基に説明）

- 今後の会議について報告。

次回の本部員会議は、明日（10/18（金））県議会本会議終了後に開催する。

10/19（土）及び10/20（日）は対応状況を本部員に送付するとともにプレスリリース。会議は開催しない。

【各本部員等】

- 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。

・政策地域部長

10月16日に山田町から土木職5名の派遣要請があり、県市長会及び県町村会を通じて県内市町村に要請している。

・環境生活部

水道の復旧状況について、断水が1,098戸。釜石市、久慈市及び普代村は全て復旧。宮古市は調査に従い戸数が増えている。うち、田老地区の配水管が破損している部分について、市道復旧が21日以降の見込みである関係で時間を要している。重茂北部、重茂南部地区については、小型車が入れる程度の道路の復旧状況であり、工事車両が入れず、破損箇所が多いことから時間も要する見込み。田老の137戸は上水の部分もあり、配水池への配管が途絶、今までは貯まっていた水を供給していたものが止まったため断水戸数が増加。その他の地区については概ね見通しは立っている。

・保健福祉部長

災害ボランティアセンターが続々と設置されている。県社会福祉協議会がホームページを立ち上げ、県内に幅広くボランティアセンターが活動しており、参加申し込みとのマッチングを進めていく。

住家被害が判明してきており、仮設住宅のニーズが出てきている。山田町等の市町村と調整して準備を進めている。

- ・商工労働観光部長

市町村の調査が進み、商工関係の件数、被害額が判明してきている。観光施設の被害状況も資料に追記している。

- ・農林水産部長

農林関係の被害の状況が続々と出てきているが、市町村によってばらつきが出た感じがある。体制が取りづらい市町村が出てきているようなので現地機関でサポートしながら調査を進めていく。

林業関係は、林道や山腹崩壊など、ハードの部分の被害の中身について把握が出来てきた。引き続き詳細な調査を進めていく。

水産関係については、沖に出て確認する必要があり調査が難しい面がある。養殖施設についての情報が入ってくるようになった。漁港施設について、外郭施設や漁況施設のハードの施設については目視確認が出来る箇所があるので詳細な調査を進めていく。

東北森林管理局のご厚意で、空からの森林被害の状況把握を、本日2回に分けて実施することとしている。

- ・県土整備部長

県管理道路の全面通行止めは2路線減の11路線となった。箇所数が1箇所増えて15箇所となったのは、長い箇所を1箇所としてカウントしていたものを調査の結果2箇所としたため。

砂防関係について、釜石市の土石流が7箇所増、大槌町が2箇所増、普代村が2箇所増の合計11箇所増。がけ崩れについては一関市が1箇所増。

公園都市施設関係については、陸前高田市の都市施設が2地区増。

下水道関係については、野田村の浄化センターについて固形塩素等による簡易処理を実施中。

公共土木施設の本日6時現在の被害状況は調査率60%であるが、本日中に100%まで実施し、明日、激甚災害の基礎数値として報告したい。おそらく1,000箇所、200億円程度になろうかと思う。

- ・教育長

社会教育施設の被害増は公民館の被害が報告されている。新たな項目として文化財関係被害件数10件を追加、平泉の中尊寺の杉の倒木や無量光院跡の保護盛土の流出等。

- ・秘書広報室長

県の公式ホームページのトップページに、お見舞いのメッセージとともに台風災害関連情報ということで各種の被災者支援や相談窓口等の情報をリンクで集約するように作業を進めている。平成28年の台風第10号災害の際と同じような内容が見込まれる。必要な情報は漏れなく、また、ニーズに応じて新しく出来たものはその都度といったかたちで掲載したい。昨日各部局に依頼したところ。ツイッターでの情報に加えて、現地の情報やボランティア等の支援活動の情報についても積極的に発信していきたい。

・沿岸広域振興局長

昨日報告した振興局税務部による市町村の被災家屋調査への人的支援のほか、農地・農業用施設の被害調査について、振興局農林部が田野畑村、山田町、陸前高田市の支援に入った。林道の被害調査については宮古市、山田町、田野畑町、釜石市、大船渡市、陸前高田市の支援に入っている。保健所の保健師が床上浸水家屋への訪問健康調査のため、本日から釜石市に支援、山田町については日程調整中。

・県北広域振興局長

昨日夕方の普代村災害対策本部における自衛隊からの報告であるが、本日から、弘前の部隊から400名体制で普代村中心部の土砂撤去等を行っていただくとのこと。

【盛岡地方气象台】

○ 今後の天候について

19日土曜日は低気圧の影響で大雨の恐れ。台風第19号で地盤が緩んでいる沿岸部では少しの雨でも土砂災害の恐れがある。被災地域の住民、復旧作業員の安全確保に留意を。19日に警報が出る可能性は中程度。

【総務部長】

○ 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

【達増本部長（知事）】

本部員として、陸上自衛隊、盛岡地方气象台の皆さんにも御参加いただき、御礼申し上げます。

時間の経過とともに調査が進み、住家被害の状況が詳しく報告されるようになってきている。その他の分野の状況も詳しくなっている。

气象台から説明いただいたが、19日土曜日は県内に大雨が降ることが予想されているということで、十分な警戒と事前の備えをして参りましょう。

被災市町村と応急復旧、生活支援にあたる防災関係機関が連携を密にして、しっかり安全の確保をしていきましょう。

引き続き、被災者の命、それは安全と健康、それを守ることを第一に被災者と被災市町村のニーズを深掘りし、例えば罹災証明書発行事務やボランティア、災害ゴミ等の課題に対応し、関係機関と連携を図りながら丁寧に対応していきましょう。

9時20分閉会

※ 第9回本部員会議は10/18（金）県議会本会議終了後を予定